



レ・コードのちから

「レ・コードの始まり」



20世紀の文化遺産でもあるレコード。それぞれのレコードに思い出がつまっています。

レ・コードと音楽によるまちづくり

発端は、1990年冬、町内音楽サークル「一枚のレコード」のアイデアから発展しました。

「レコードをこのままにしておくで散逸してしまい貴重な歴史的価値のある音楽文化が間違いなく消滅する。今、消え去ろうとしているレコードを世界的規模で集めて町づくりができれば、きっと文化の香りの高い町が造られるだろう。それは21世紀に生きる子供たちのためにも素晴らしいことだろう。」という熱い思いがスタートとなっております。

当時、新しい町のあり方を模索していた新冠町は、町を活性化するユニークなアイデアであると考え、「レ・コードと音楽によるまちづくり」という夢のようなまちづくりがスタートしました。



新冠町のシンボル「レ・コード館」。平成19年度、開館10周年を迎え、様々なイベントが催されました。

レ・コード館の「・」の意味とは

「Record」の語源を紐解くと、「Re」には「Refresh リフレッシュ」、「Remember リメンバー」、「Relax リラックス」など「返る、戻る、再び、新たに」という意味があり、「cord」は、ラテン語で「心」という意味があります。ここから、「Re・cord」の言葉には「心が返る」という意味が含まれていることがわかります。

このことから、「レ・コード館」と標記し、昔レコードを聴いて成長した世代の人達には、懐かしいレコードを聞くことによって思い出を呼び起こすことができる。そんな場所になってほしいという願いが込められています。また、今、新冠町で育ち、進学や就職でこの町から離れていく子どもたちには、いつまでもこの「レ・コード館」がふるさとのシンボルであり、ふるさとを思い返すための場所であってほしいという願いも込められています。

小竹町長の動静 & まちのできごと

3月 ●は町長出席

●3日、入札、日高中部衛生施設組合・広域連合・消防組合定例会(新ひだか町) ○3日、新冠町地域担い手育成総合支援協議会臨時総会 ○4日、入札 ●5日、第1回定例会(～13日) ●8日、新冠町青年主張大会 ○10日、例月出納検査 ●15日、新冠町体育協会創立50周年記念式典 ●16日、入札 ●18日、庁内会議 ●23日、地域保育所修了式、(社)北海道競馬振興公社理事会・臨時

総会(日高町) ●24日、新冠町担い手育成対策支援第一号認定者補助金贈呈式、新冠町社会福祉協議会評議員会、新冠町自治会連合会総会 ●25日、新冠保育所修了式 ○新冠町建設工事等請負業者資格審査会 ●26日、新冠地区林野火災消防対策協議会、日高産ツブ地域ブランド化協議会(浦河町) ●27日、新冠ヒルズ取締役会 ●31日、退職辞令交付式、定年退職者を送る会

人のうごき (平成21年3月末現在)

人口	5,901人	(前月比 + 9人)
男	2,875人	(前月比 + 6人)
女	3,026人	(前月比 + 3人)
世帯	2,600世帯	(前月比 + 13世帯)
外国人登録者	39人	

